

教育開発推進機構

内村慶士助教	……………	260
加納なおみ教授	……………	261
土肥充教授	……………	262
柳瀬弘美准教授	……………	263

【 職・氏名 】	助教 内村 慶士 (UCHIMURA Yasushi)
【 学位 】	博士(教育学) (2022年03月24日, 東京大学, 第4230735006041号)
【 本学就任年月日 】	2023年04月01日
【 略 歴 】	東京大学 教育学部教育心理学コース 卒業 東京大学 大学院教育学研究科修士課程 臨床心理学コース 修了 東京大学 大学院教育学研究科博士課程 臨床心理学コース 修了
【 研究分野 】	リメディアル教育, ワーク・ライフ・バランス
【 所属学会 】	日本心理学会, 産業・組織心理学会, 大学教育学会, 日本教育工学会, 日本青年心理学会, 日本カウンセリング学会
【 学外委員等活動 】	
【 受賞歴等 】	学会賞(パーソナリティ心理学会) (2022年12月03日)

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	単著	仕事切り替え困難尺度の開発	心理学研究	93, 5	447～ 457	公益社団法人 日本心理学会	2022年08月30日
論文	共著	アバター通信を用いた心理支援における非言語コミュニケーションの豊富さと対面性の低さの役割の検討	パーソナリティ研究	30, 3	174～ 185	日本パーソナリティ心理学会	2022年02月28日
論文	単著	働く人の「切り替えられなさ」の生起過程に関する質的研究—反復性思考に着目して—	産業・組織心理学研究	34, 1	3～ 17	産業・組織心理学会	2020年
Misc	単著	國學院大學学修支援センターにおけるリメディアル教育の取り組み—Instagramを活用した情報発信とアカデミック・スキルズ講座の実践報告—	國學院大学教育開発推進機構紀要	16	1～14	國學院大学教育開発推進機構	2025年02月01日
著書等出版物	単著	仕事からの切り替え困難に対する心理的支援: 持続可能な働き方の実現のために			256	東京大学出版会	2023年11月02日

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～終了ページ, ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	単著	働く人の「切り替え」におけるセルフモニタリングの限界: シフト制勤務の女性社員を対象にした調査から	東京大学大学院教育学研究科紀要	62	537～ 645	東京大学大学院教育学研究科	2023年03月30日
Misc	単著	論証型レポートの包括的ルーブリックの開発—アカデミック・スキルズ講座の実践を通じて—	國學院大学教育開発推進機構紀要	15	1～ 13	國學院大学教育開発推進機構	2024年02月01日
講演・発表	単独	柔軟な働き方でのセルフマネジメントを支える個人の意識—「心身の状態への気づき」と「自分を労わる意識」に着目した質問紙調査から—	日本心理学会第87回大会			日本心理学会	2023年09月17日
講演・発表	単独	「自分ケア意識」を育むセルフモニタリングシステムの開発と効果検証—仕事と生活の自律的な管理に向けて—	日本心理学会第86回大会			日本心理学会	2022年09月17日
講演・発表	単独	仕事と生活の切り替えにおける「セルフケア意識」の役割	日本心理学会第85回大会			日本心理学会	2021年09月01日～2021年09月08日

【競争的資金】 (3点まで)							
種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	研究活動スタート支援	部下の自律を促進する1on1ミーティングの特徴: 仮説生成と縦断研究による因果推論	日本学術振興会	内村慶士	23K18984	1430000	2023年08月31日～2025年03月31日
科研費	研究成果公開促進費「学術図書」	仕事からの切り替え困難に対する心理的支援—持続可能な働き方の実現のために	日本学術振興会	内村慶士	23HP5143	1900000	2023年04月01日～2023年12月31日
科研費	特別研究員奨励費	働く人の主体的な切り替えを支援するICTプログラムの開発: 反芻の防止に着目して	日本学術振興会	内村慶士	21J13786	1500000	2021年04月28日～2023年03月31日

担当授業科目							
2024年度: 心理学A, 心理学B							

【 職・氏名 】	教授 加納 なおみ (KANO Naomi)						
【 学位 】	博士(教育学) (2012年05月, コロンビア大学ティーチャーズ・カレッジ大学院国際異文化研究学部国際教育開発学研究所)						
【 本学就任年月日 】	2019年04月01日						
【 略 歴 】	津田塾大学 学芸学部国際関係学科 卒業 シカゴ大学人文学部大学院 哲学人文学科修士課程 修了 コロンビア大学ティーチャーズ・カレッジ大学院 国際異文化研究学部国際教育開発学研究所 教育学博士課程 言語・リテラシー教育・バイリンガル教育専攻 修了						
【 研究分野 】	リテラシー教育、ライティング教育、バイリンガル・マルチリンガル・マルチリテラシー教育、トランスランゲージング教育論、協働学習、アクティブ・ラーニング、教師教育						
【 所属学会 】	母語・継承語・バイリンガル教育(MHB)学会 理事, お茶の水女子大学日本語文化学会, 米国北東部日本語教師会継承語研究会, 母語・継承語・バイリンガル教育(MHB)研究会, 日本語教育学会, 大学教育学会						
【 学外委員等活動 】							
【 受賞歴等 】							
【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	共著	『『アカデミック・リテラシー』での教師の協働から生まれる「縦横」の展開—汎用的アカデミック・スキルズ指導と高大接続、高等教育におけるマルチリンガル教育との相互作用—』	國學院大學教育開発推進機構紀要	16	26～48	國學院大學教育開発推進機構	2025年03月01日
論文	共著	『『アカデミック・リテラシー』履修生のライティング力の変化からみる教授法標準化の意義』	國學院大學教育開発推進機構紀要	15	23～30	國學院大學教育開発推進機構	2024年03月01日
論文	共著	「履修生のライティング力の変化から見る『学習成果』とプログラム評価—共通教育科目『アカデミック・リテラシー』における調査結果より—」	國學院大學教育開発推進機構紀要	13	14～33	國學院大學教育開発推進機構	2022年03月01日
論文	共著	「トランス・ランゲージング」再考—その理念、批判、教育実践—	母語・継承語・バイリンガル教育(MHB)研究	17	52～74	母語・継承語・バイリンガル教育(MHB)学会	2021年05月30日
論文	単著	「基礎日本語」から「アカデミック・リテラシー」へ—アクティブ・ラーニング化とオンライン化を通じた2019年以降の授業改革—」	國學院大學教育開発推進機構論文集	12	1～13	國學院大學教育開発推進機構	2021年03月01日
【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ～ 終了ページ, ページ数(担当 ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	共著	『『打ち言葉』における句点の役割—日本人大学生のLINEメッセージを巡る一考察—』	人文科学研究	13	91～104	お茶の水女子大学	2017年03月01日
論文	単著	「トランス・ランゲージングを考える—多言語使用の実態に根ざした教授法の確立のために—」	母語・継承語・バイリンガル教育(MHB)研究会	12	1～22	母語・継承語・バイリンガル教育(MHB)研究会	2016年05月30日
論文	共著	Translanguaging as process and pedagogy: Developing the English writing of Japanese students in the US.	The multilingual turn in languages education: Opportunities and challenges.		264～283	Multilingual Matters	2014年03月01日
論文	単著	Japanese community schools: New pedagogy for a changing population.	Bilingual community education and multilingualism: Beyond heritage languages in a global city.		99～112	Multilingual Matters	2012年03月01日
著書等出版物	共著	『ピアで学ぶ大学生の日本語表現: プロセス重視のレポート作成』			第4～7課 他	ひつじ書房	2014年03月01日
【競争的資金】 (3点まで)							
種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	若手研究	「海外日本語補習授業校におけるリテラシー能力強化をめざす新たな日本語教育プログラム」	日本学術振興会	加納 なおみ	18K12423	4030000	2018年04月01日～ 2024年03月31日
科研費	基盤研究(C)	「LINEをプラットフォームとした多言語多文化社会におけるネットワーク構築」	日本学術振興会	佐々木 泰子	16K02803	4550000	2016年04月01日～ 2019年03月31日
担当授業科目							
2024年度: アカデミック・リテラシー I, アカデミック・リテラシー II							

【 職・氏名 】	教授 土肥 充 (DOI Mitsuru)						
【 学 位 】	博士(学術) (1995年03月24日,千葉大学,千大院自博甲第学110号)						
【 本学就任年月日 】	2019年04月01日						
【 略 歴 】	東京外国語大学 外国語学部英米語学科 卒業 千葉大学 大学院教育学研究科英語教育専攻 修士課程 修了 千葉大学 大学院自然科学研究科生産科学専攻 博士課程 修了						
【 研究分野 】	英語教育、CALL、教育工学						
【 所属学会 】	外国語教育メディア学会, 大学英語教育学会, 日本教育工学会, 全国英語教育学会, 関東甲信越英語教育学会, 映画英語教育学会, 日本音声学会, 岩崎研究会						
【 学外委員等活動 】	〔過去5年間〕日本学術振興会 科学研究費助成事業(基盤研究(S)) 審査意見書作成者, 日本学術振興会 科学研究費委員会専門委員(教育工学)						
【 受賞歴等 】	外国語教育メディア学会学術賞(2007年08月08日), 大学英語教育学会実践賞(1996年09月21日)						
【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ~終了ページ,ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	共著	國學院大學におけるTOEIC L&R IPスコアの上昇傾向の分析	國學院大學教育開発推進機構紀要	16	15~ 25, 11	國學院大學教育開発推進機構	2025年02月28日
論文	共著	文系学生のための英語聴解力養成用CALL 教材の開発: 社会科学系教材	Journal of English Language Education and Research	1	88~ 98, 11	千葉大学英語教育開発センター	2024年03月15日
論文	単著	國學院大學へのCALLシステムの新規導入と授業実践	続・英語教育の科学-三ラウンド・システムの理論と中高大での教育実践		200~ 207, 8	学術研究出版	2022年01月18日
論文	単著	千葉大学での教育実践	続・英語教育の科学-三ラウンド・システムの理論と中高大での教育実践		116~ 128, 13	学術研究出版	2022年01月18日
論文	共著	MoodleとCALLシステムによるオンデマンド英語授業の実践-受講者による印象評価の量的・質的分析-	e-Learning教育研究	15	37~ 46, 10	e-Learning教育学会	2021年03月20日
【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ~終了ページ,ページ数(担当ページ)	出版社名/主催者名/発行所等	出版/開催/発行年月日
論文	共著	英語学習教材開発における生成AI技術の統合に関する予備調査	Journal of English Language Education and Research	2	67~ 79, 13	千葉大学英語教育開発センター	2025年03月15日
論文	共著	自由記述によるCALLシステムの評価結果の分析	千葉大学国際教養学 研究	2	95~ 118, 24	千葉大学国際教養学部	2018年03月31日
論文	単著	千葉大学における TOEFL ITPのスコア分析	千葉大学国際教養学 研究	1	123~ 137, 15	千葉大学国際教養学部	2017年03月31日
論文	単著	英語教育におけるICTの活用 3 実践(指導, テスト, 評価) 3.1 LTMシリーズによる指導実践とEducational Testing Service (ETS)によるテストや評価のシステム	全国英語教育学会40周年記念特別誌 英語教育学の今-理論と実践の統合-		338~ 341, 4	全国英語教育学会 全国英語教育学会40周年記念特別誌編集委員会	2014年03月31日
論文	共著	A Validity Assessment of the Comprehensive CALL System Developed on the Three-Step Auditory Comprehension Approach	Global Perspectives on Computer-Assisted Language Learning		337~ 340, 4	WorldCALL	2013年07月31日
【競争的資金】 (3点まで)							
種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間
科研費	基盤研究(C)	HTML5を使用したマルチプラットフォーム対応CALLシステムの開発と試用	日本学術振興会	土肥 充	15K01057	4940000	2015年04月01日~2019年03月31日
科研費	基盤研究(C)	CALLを活用する英語教育総合システムの高度化に関する研究	日本学術振興会	土肥 充	23501135	5200000	2011年04月01日~2014年03月31日
科研費	基盤研究(B)	映画DVD対応CALL教材作成支援システムの開発	日本学術振興会	土肥 充	18300276	7680000	2006年04月01日~2009年03月31日
担当授業科目							
2024年度: 英語Ⅲ (CALLによる聴解と語彙), 英語Ⅲ (CALLによる留学準備)							

【 職・氏名 】	准教授 柳瀬 弘美 (YANASE Hiromi)
【 学 位 】	修士(学術) (2014年03月26日,千葉大学)
【本学就任年月日】	2023年04月01日
【 略 歴 】	神田外語大学 外国語学部 国際コミュニケーション学科 卒業 千葉大学 大学院人文社会科学研究科博士前期課程 地域文化形成専攻 修了 千葉大学 大学院人文社会科学研究科博士後期課程 文化科学研究専攻 満期退学
【 研究分野 】	英語学, 対象言語学
【 所属学会 】	認知言語学会, 全国語学教育学会(JALT)
【学外委員等活動】	
【 受賞歴等 】	

【最近5年間の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ~ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日
論文	共著	國學院大學におけるTOEIC L&R IP スコアの上昇傾向の分析	國學院大學教育開発 推進機構紀要	16	15~25	國學院大學	2025年2月
論文	単著	助詞「と」と知覚動詞により表現され る証拠性	千葉大学人文公共学 研究論集	44	48~56	千葉大学	2022年3月
論文	単著	To不定詞についての一考察	千葉大学人文公共学 研究論集	43	72~84	千葉大学	2021年9月

【上記以外の主な研究業績等】 (5点まで)							
種別	区分	業績名	掲載誌名/会議名	巻,号	開始ページ~ 終了ページ, ページ数(担 当ページ)	出版社名/主催者 名/発行所等	出版/開催/発行 年月日

【競争的資金】 (3点まで)							
種別	研究種目	研究課題名	資金提供機関	研究代 表者	研究課題番号	配分額(総額)	研究期間

担当授業科目
2024年度: 英語Ⅲ (CALLによる聴解と語彙)

自己点検・評価報告書 別冊

教育・研究活動報告書（令和6年度版）

令和8年3月16日発行

発行 國學院大學

〒150-8440

東京都渋谷区東四丁目10番28号

TEL 03-5466-0111

連絡先 國學院大學総合企画部企画課

TEL 03-5466-0395
